

令和8年度

「運営に関する計画」

大阪市立東小橋小学校

令和8年4月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校は、児童数は少ないながら、アットホームな環境であり、子どもも大人も非常に「近い」人間関係の中、地域・保護者・近隣学校園と協力して教育活動を進めている。学校教育目標には、「**ともに学び ともに育つ**」を掲げ、

- 1. 「問い」を持ち、探究的に学ぶ子どもの育成**
- 2. 自他を大切にし、対話を通して共に高めあう子どもの育成**
- 3. 健やかな体と自立した生活力の育成**

をめざしている。

令和14年度には、本校・大成小学校・中道小学校の3校が統合し、中道小学校の校地に新小学校が開校する予定となっている。3校の教職員の人間関係を結ぶため、研修の合同化や、3校の子どもの人間関係を結ぶため、学校行事の合同化にも徐々に注力していく予定である。

令和4・5年度に市幼児教育センターの指定を受け、就学前教育施設である東小橋幼稚園・東小橋保育所・キッズファースト保育園の3園所と本校で連携接続研究を行い、その成果を市全体へ報告した。研究が終了した後も、3園所とは良好な関係を維持しており、活発な連携を継続している。

学校統廃合の影響により入学者数が減少する懸念と、新小学校へ子どもも教職員もスムーズに移行することが本校の最大の課題である。

1. 「問い」を持ち、探究的に学ぶ子どもの育成

「主体的・対話的で深い学び」を実現するためには、「教えられたことを覚える」学びから、「自ら課題を見つけて解決する」学びへシフトする必要がある。主体的に「なぜ？」と問う姿勢が、生涯学び続ける力の土台となるからである。

そのような学びを実現するため、児童・教職員の実態に即して効果的な教員研修を実施し、教員の授業力を高めたいと考える。

また、引き続き、一人一台端末を利用した心の天気やデジタルドリルの効果的な活用も進めていきたい。

簡潔に言えば、知識を「持っている」だけでなく、**知識を「使いこなして創造する」子どもを育てる**のが、本項目の狙いとなる。

2. 自他を大切にし、対話を通して共に高めあう子どもの育成

自分と相手を等しく「大切な存在」と認めることは、学びの基盤である。安心感があるからこそ、失敗を恐れずに意見を言えるようになり、結果として個々の自己肯定感が高まることにつながる。

また、多様な人々と関わる現代社会においては、自分とは異なる意見や背景を持つ他者と、排除ではなく「対話」によって合意形成を図るスキルは、現代社会を生きる上で不可欠な資質・能力である。

加えて、学びを一人で完結するには限界があるが、互いの強みを活かし、弱みを補い合う「高めあい」の経験を通じて、一人では到達できない高い目標や創造的な解決策にたどり着く喜びを実感させることができる。

総じて、孤立せずに「**つながりの中で成長できる社会性**」を育むことが、この項目の核心である。

3. 健やかな体と自立した生活力の育成

どんなに知識（知）や豊かな心（徳）があっても、それを支える健康な体（体）がなければ十分に発揮できない。小学校段階で、生涯にわたって心身の健康をセルフマネジメントできる力の基礎を築くことは重要である。

また、ストレスの多い現代において、規則正しい生活習慣や体力は、心の折れにくいしなやかさを生むことにつながる。自分のコンディションを整える力がつくと、困難を乗り越える大きな武器になる。

加えて、自分のことを自分でできるよう、児童自身が判断し、責任を持って行動することができれば、依存から脱却し、自分の足で人生を歩む「自律」につながる。

端的に言えば、「**自分の命と暮らしを自分で守り、豊かにしていく力**」を育むことが本項目の狙いである。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」における「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を 100%にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
- ・令和 11 年度において、第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 100%にする。

- ・小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【その他】

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。
- ・児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」における「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を 100%にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 80%以上にする。
- ・小学校学力経年調査における「インターネットや生成 AI、SNS 等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
- ・第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教職員の割合を 100%にする。
- ・小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

【その他】

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立東小橋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を75%以上にする。 ・児童虐待防止に関わる研修「研修受講シート」における「児童虐待を発見したり、疑いがある際には、ためらうことなく必ず通告を行いますか。」に対して、「はい」と回答する教員等の割合を100%にする。 ・小学校学力経年調査における「自分には、よいところがありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1-1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめのアンケート調査を定期的実施し、当該児童からの訴えを的確に聞き取り、課題の解決を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめのアンケート調査を年間6回以上行う。 ・認知したいじめ事案については、100%の解決を図る。 ・「いじめについて考える week」及び「いのちについて考える week」を設定し、いじめ防止の意識を高めるための授業を、各学年、年2回以上実施する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 1-1、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童虐待防止に関わる研修を行い、教職員全体の意識の向上を図るとともに、保護者への啓発を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員対象にした、児童虐待防止に関わる研修を年1回行う。 ・保護者に向けた啓発の手紙を年1回出す。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 1-2、豊かな心の育成】</p> <p>児童の自己肯定感を高めるため、授業の中で称賛したり、友だちから認められたりする場を設けたりするとともに、児童が自ら考え、主体的に判断できる場を教育活動全体で積極的に取り入れる。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学年部会内で年に1回は授業を見せ合い、複数の教員の目で児童の育ちを見取り、指導に生かす。 	

<p>取組内容④【基本的な方向 1-2、豊かな心の育成】</p> <p>学級活動や児童会活動でお互いのよさや違い認め合い、協同する活動を実施する。</p>	
<p>指標</p> <p>・縦割り班活動で協同して活動（集会・清掃等）する場면을週に1回以上設定する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか。」に対して肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「規則正しい生活（「朝食を毎日食べること」「毎日、同じくらいの時刻に寝て、同じくらいの時刻に起きること」）が大切だと思う」に対して、肯定的に回答する児童の割合を70%以上にする。 	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向 2-4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学習のあり方を質的に改善し、「主体的・対話的で深い学び」を実現するための授業を進める。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年に1回程度、「主体的で対話的で深い学び」に関する研修会を実施する。 	
<p>取組内容② 【基本的な方向 2-4、誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「小学校低学年からの英語教育」、外国語活動、外国語科において、対話的な学びを実現する。(実施する)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語科、外国語活動の各単元で、児童が以前の自分と比べ「できる」と感じられる評価活動を実施する。 ・全学級で、1回15分×週2回の「小学校低学年からの英語教育」を実施する。 	
<p>取組内容③ 【基本的な方向 2-5、健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業において児童が「がんばった」と感じられる授業を実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内児童アンケートの「音楽や体育などの学習で、新しいことや苦手なことにもがんばって挑戦している」の項目において肯定的な回答を75%以上にする。 	
<p>取組内容④ 【基本的な方向 2-5、健やかな体の育成】</p> <p>基本的な生活習慣の指導を行うとともに、家庭への啓発も実施することで、児童の健やかな成長を図る。</p>	

指標

- ・基本的な生活習慣に係る家庭への啓発を、ほけんだよりで年に 11 回以上行う。
- ・給食週間に健康委員会による集会を開催する。
- ・食育について、家庭への啓発を食育だよりで年に 11 回以上行う。

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立東小橋小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【3つの最重要目標 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none">・ 小学校学力経年調査における「宿題や連絡帳など、授業以外の場面で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週3回以上と回答する児童の割合を80%以上にする。・ 小学校学力経年調査における「インターネットや生成AI、SNS等を活用する時に、情報の確かさを確認したり、悪口やいじめにつながる内容を扱わないよう注意していますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。・ 第2期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準2を満たす教職員の割合を100%にする。・ 小学校学力経年調査における「学校図書館や学級文庫、読書コーナーなど、学校内にあなたの読みたい本がありますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を65%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【基本的な方向3-6、教育DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</p> <p>学習者用端末 (一人一台タブレット PC) のデジタルツール等を各学年の実態に応じて活用する。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学習者用端末利活用率が毎月80%以上になるようにする。・	
<p>取組内容② 【基本的な方向3-7、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>教職員の働き方改革に関して、勤務時間の最適化を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 原則週1回「ゆとりの日」を設定する。・ 職員会議設定日は5時間授業とし、16:30までに会議を終了する。・ 学校閉庁日について、夏季休業中は4日、冬季休業中は3日以上設定する。・	
<p>取組内容③ 【基本的な方向3-8、生涯学習の支援】</p> <p>読書タイムやブックバックを活用し、読書環境を整えていくことで、児童の読書に対する意欲の向上を図る。</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none">・ 年度末の校内調査において、「学校図書館やその蔵書を活用した授業を学期に数回程度行い、児童の読書に対する意欲向上に努めた」と回答する教員の割合を80%以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点